

2015年(平成27年)2月28日(土) NO 83号

# K-PURO NEWS

## 【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	<a href="http://www.k-puro.co.jp">http://www.k-puro.co.jp</a>
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

## 【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い



## 【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	<a href="http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/">http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/</a>
NPO 法人	さいたま起業家協議会	<a href="http://www.saitama-kk.org/">http://www.saitama-kk.org/</a>
公益社団法人	千葉東法人会青年部	<a href="http://www.chibahojin.jp/">http://www.chibahojin.jp/</a>
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	<a href="http://www.rinri-chiba.org/">http://www.rinri-chiba.org/</a>
公益財団法人	モラロジー研究所	<a href="http://www.moralogy.jp/">http://www.moralogy.jp/</a>

## 【応援団体企業】



## ごあいさつ

侵入窃盗の認知件数は、平成 15 年以降年々減少に転じています。  
しかしながら、住宅対象の侵入窃盗件数は、1 日当たり約 160 件の被害が発生しています。この数字を多いと捉えるか、少ないと感じるかは個人差があると思いますが、危機管理意識および自己防衛手段は非常に重要になっています。  
ホームセキュリティをお考えの場合は、セコムおよび ALSOK、CSP を取り扱う弊社までご相談下さい。ホームセキュリティは、警備会社によって、それぞれシステムの長所、短所が大きく異なります。比較要素は、金額を筆頭に、警備会社のブランドおよび社風・事務スピード、機器の意匠および操作性、待機所の距離、事故発生時の保障および付帯保険の有無、バックアップを含む通信回線方法、停電対応能力、無線機器の電池対応能力、等々が挙げられます。  
弊社ではこれらを総合し、お客様にまとめて提案いたします。  
社名の由来は、覚えやすく、警備のプロを略して『ケイプロ』と名付けました。  
ただし、大変申し訳ありません。会社の方針として一見さん(知らない方)はお断りしております。  
理由は編集後記をご覧ください。 代表取締役 木戸 良樹

## 今月の良い話 「感謝の心」

昔、仲の悪い嫁と姑がいました。

姑は、病気がちでいつも機嫌が悪く、事あるごとに嫁をいびります。

「うちの嫁は、要領が悪くて、怠け者で・・・。」と本人に聞こえるように言うだけでなく、近所や親戚にも言いふらします。夫は、嫁の前では、「お母さんは言い過ぎじゃないか。」とは言うものの、病気の母親の前に出ると口答えのできない人です。

嫁は姑にいびられるたびに、いい嫁になろうと努力します。

しかし、いくら努力しても、陰湿ないじめをやめない姑に次第に憎しみを募らせていきます。

遂には、いっそ姑が消えていなくなればよいと思うほどになりました。

そんな暗い思いをもつ自分に、嫁はまた苦しみました。

そこで、あるとき、信頼できる僧に自分の悩みを打ち明けます。

するとその僧は、こう言いました。

「そうか、ではお前の望みをかなえてやろう。簡単なことだ。この薬を姑の食事に少しずつ混ぜるのだ。すると、姑の体はだんだん弱まっていき、一月もすると消えてなくなるじゃろう。」

嫁は驚きました。「つまり、一月で死ぬということですか？」

僧は平然としていました。

「人は皆、死に向かっておる。誰でも老衰する。ただそれを早めるだけのことじゃ。」「でも・・・。」

「ただし、この薬を使うにあたって一つ条件がある。この薬を入れた食事は多少味が悪くなる。姑に気持ちよく食べてもらうためには、食事を出すごとに、何でもいいから感謝の言葉を述べるのだ。」

「感謝の言葉、でございますか？」

嫁は食事に薬を混ぜるよりも、姑に感謝の言葉を口にすることがずっと難しいような気がしました。



家に帰ると、姑のいつもの突き刺すような目が待っていました。

「どこで油を売っておったのか、お前はいつも帰りが遅い、グズで要領が悪い。」などと姑から罵詈雑言を浴びせられました。

「申し訳ありません・・・。」

嫁は頭を畳につけて謝ると、台所に駆け込み、涙ながらに、食事の支度にとりかかりました。

そして、良心の呵責を覚えながらも、僧からもらった薬を少しだけ混ぜて姑の前に出しました。

僧から言われたとおり、何か感謝の言葉を口にしなければなりません。

「お母さん・・・。」

「ふん、なんだい、また同じようなおかずか。お前は料理が一向に上達せんの・・・。」

「はい、ありがとうございます。」

「何？なんだって。」

「ありがとうございます。」

「どういふことだ。」

「私は、本当に料理が下手です。ですから、お母さんが私の下手な料理でも食べてくださるだけで、ありがたく思ふんです。」

嫁はちょっと不思議そうな顔をしましたが、黙って料理に箸をつけました。

そして、黙々と食べると箸を置く前に一言つぶやきました。

「今日の料理、ちつとはうまかったぞ。」

嫁は驚きました。なぜなら、初めて姑に誉められたからです。

そんなことがあつても、これまで積もりに積もつた姑に対する憎しみが消えるはずはありません。

嫁は僧が言つたとおり、料理に少しずつ薬を混ぜ、姑に毎回必ず感謝の言葉を言うようにしました。



お母さんに、味噌汁の作り方を教えてもらったこと。

お母さんに、掃除の仕方を教えてもらったこと。

お母さんに、裁縫のコツを教えてもらったこと。

自分はまだ十分にできないが感謝していると繰り返し伝えました。

お母さんから言われてきた数々の叱責の言葉も、自分の励ましにしていきたいと感謝しました。

嫁は、始めは心にもない言葉を並べているように思えました。

しかし、毎日感謝の言葉を口にするたびに、自分の心が次第にほぐれていくのが不思議でした。

そうしているうちに、姑の嫁に対する態度が明らかに変わっていききました。

嫁を見るとき顔が柔和になってきました。

それどころか、陰で、嫁のことを誉めることもありました。

夫には「お前はいい嫁をもらった。」と言ひ、近所や親戚には「うちの嫁は息子が選んだだけあつて、できた女だ。」と自慢するようになつたのです。

それに応じて、嫁は姑に対する憎しみが薄らいでいきます。

それどころか、病気がちで立つことも歩くこともできない姑の身になってみると、これまでの自分に細やかな愛情が足りなかつたのだと気づかされました。嫁の心に次第に激しい後悔の念が湧き上がります。私は、あの姑を体よく老衰したように見せかけ、毒殺しようとしている。何と恐ろしい・・・。

いたたまれなくなつた嫁は、僧のところへ駆け込みます。そして、泣きながらに訴えます。

「お坊さま、私の間違いでした。私は、なんと罪深い女でしょう。どうかどうかお許しください。

お坊さま、とまかくお母さんを死なせたくありません。どうかあの毒を消す薬をください。

お願いいたします。お願いいたします。」

泣いて頼む嫁に、僧は言ひました。

「案じるな・・・。あれはただ海草を粉にしたものだ。毒ではない。

毒を消す薬、と申したな。覚えておきなさい。心の毒は、感謝することで消えるものじゃ。

どうやらお前の心にあつた毒は、もうすっかり消えてしまつたようだな・・・。」



## 事件ファイル NO83 オートバイ盗

日時 平成 27 年 1 月 24 日(土)00 時 58 分頃  
場所 千葉県松戸市五香周辺  
内容 4 人組によるオートバイ窃盗事案。(ドウカディ製大型バイク)  
犯人たちが現れてから持ち去るまでの犯行時間はおよそ 20 分。  
オートバイの前輪は、太い金属製のワイヤーチェーンで駐輪場の輪留めに固定していたが、音の出ない工具を使用し、強固なワイヤーチェーンを切断した模様。  
前輪タイヤのロックはそのままの状態、前輪を滑車に載せ運び去った。  
左の男は、左手に工具のようなものを所持している。見張り役もいる。



## プロ太の小話集 NO83 『失敗作』

ジョンは、大学で同級のマリアと結婚したかったが、  
父親から結婚の害を散々叩き込まれて臆病になっていた。  
煮え切らないジョンに痺れを切らしたマリアが言った。  
「結婚の約束をしなければ、あなたの要求は何一つ受け入れる訳にはいかないわ！」

そこで、ジョンは一計を案じた。試験的に結婚して、3ヶ月間様子を見る。  
もし失敗だと思えば、すぐに止めるという約束でやってみる。  
家に帰り、その事をさっそく話すと父親は苦りきった顔で言った。  
「その失敗作がおまえだ・・・。」



////////////////////  
今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？  
一見さんお断りの理由ですが、お客様と深く、そして末永くお付き合いがしたいと会社を立ち上げたのが一番の理由です。  
また、少し変わった理由として、ALSOK の勤務時代、こんな方たちと実際にお会いしました。  
人が入れない小さな窓から侵入し家具に傷を付けていく(こびとの侵入)、隣の家から薬品を散布される(花咲爺さん嫌がらせ)、床下から侵入されコタツが盛りあがった(ほふく前進泥棒)、某宗教法人の人が山から敷地内に不法侵入してくる(オウム返し)などです。  
ご本人たちは本気で思っているのです、こうなると警備を導入しても根本の解決にはなりません。  
このような被害妄想の方って結構いらして、話し出すと永遠に終わりません。  
お互い心から信頼し合える嘘偽りのない契約関係って大切ですよ。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長 10 メートル・体重 1 トン・無敵無敗)